

# いずみのひろば



## 「ペトロの回心とコルネリウスの救い」

使徒言行録 10:30~35

ある日、ペトロさんに不思議なことが起こりました。

お屋の12時ぐらいに何か食べたいなあと思っていたところ、大きな布のよう  
なものが天から地上に降りてきました。

その中にはユダヤ人であれば決して食べてはならないと禁止されているい  
ろんな動物が入っていました。(レビ記11章に詳しく記載されています。)

そしてこんな声が聞こえたのです。

「ペトロよ、身を起こして屠って食べなさい。」

ペトロさんは言うんです。

「とんでもないです。食べてはいけない動物も入ってるじゃないですか！」

ペトロさんは考え込んでしまいました。

けれども、ペトロさんはわかったんです。

ペトロさんはユダヤ人。コルネリウスさんは外国人。

当時、ユダヤ人にとってまたペトロさんにとって、外国人と交際する事は  
法律違反になっていました。

そんな考え方をしていたペトロさんに神様は見せたんですね。

つまり、食べていい動物と食べてはならない動物とを一緒に布に入れて目  
の前に見せたんです。

神様の前では、ユダヤ人も外国人（私たち日本人もユダヤからする  
と外国人です）も関係ない。同じように愛されるんです。

また、私たち一人一人も「あの人は偉い、あの人はもう一つ。あの人は  
お金持ち、あの人は貧乏。」ちよつとできるからといって偉そうにしたり、人

を小馬鹿にしたり、逆に妬んだり。そんなことを思う必要はないんです。

神様の前ではみんな平等。  
神様は私たち一人一人を愛してくださっています。